

12/8 土 くまもと森都心プラザビルを舞台にはじまるドキドキわくわくまるごと体感 9 条 Day

10:00 ~ サテライト イベント
5F 会議室 A・B・C・D・ロビー



13:00 ~ 6F ホール
中川五郎さんライブ

14:00 ~ 記念講演

6F ホール

アメリカ人が見たメルトダウンと憲法

話し手: アーサー・ビナードさん(詩人・パーソナリティ)



日本人が知らない? 新しい日本が見える
の窓から世界が見える
3.11 原発事故と憲法

まるごと体感 憲法 9 条 Day

語る

▼トーク・カフェ

~若者といっしょに夢や希望を語る~

▼シンポジウム『原発と9条』

観る・聴く・歌う

▼「平和紙芝居」^{ライヤー}、「竖琴と昔ばなしのひと時」

▼現代へのまなざし・東弘治銅版画展^{エッチング}

▼「熊本の空襲と戦時下の教育」展

▼うたって語る平和を・歌声喫茶

サテライトイベント 10:00 ~ 5F 会議室 A・B・C・D・ロビー

▼喫茶・軽食ラウンジ

食べる

お弁当、おにぎりセット、手作りパン

フェアトレードコーヒー

▼各地九条の会ち押し食バザー

9条いきなり団子、九ちゃん饅頭、市だご、

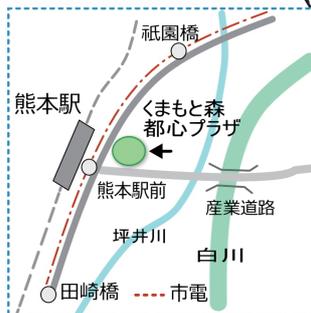
栗の渋皮煮、九条クッキー、9条パイ

会場のご案内

・JR 熊本駅・市電熊本駅前
から徒歩 1分

*会場には駐車場はありません。
公共交通機関をご利用下さい。車
で来られる方は駅周辺の有料駐車
場をご利用下さい。

*無料託児あり



チケット 前売 1000 円 (学生 500 円 中学生以下無料) 当日 1200 円 お問い合わせ先 080-4286-9900

主催: くまもと9条の会 8周年記念実行委員会

URL: <http://event.kinasse.com/kuma9/index.html>

■戦争も武力も軍隊も放棄するとした「憲法9条」を、世界の人はいつたいどう捉えているのか、まして軍事産業で成り立っているともいえるアメリカ。9条と原発とのつながり、そして、3・11以後のニッポン。原発に対する日本人の新しいアクションも見逃せません。

講師のアーサー・ビナードさんはラジオ番組のパーソナリティをつとめ、朝美納豆（アーサー・ビナード）と名刺にも刷ってあるくらい、納豆好きのアメリカ人です。そして詩人として、日本人が知らない日本をくつきりと、こぼれを、通してつかみ取る名人です。私たちは日本にながら実は日本をよく知っていません。不思議なニッポン、それは憲法9条についても同じです。9条をアメリカ人から見た場合、どれほど世界に先駆けた条文であるか、あらためて知ることになります。

■加えて、今年の8周年記念事業は、わくわくドキドキの、市民参加型のイベントになっています。熊本駅前にあるくまもと森都心プラザホールを一日まるごと借りきって、多様なテーマを同時進行で用意しました。どうぞ、あなたに合ったスタイルで、見て、聴いて、語って、歌って、食べて、まさに、五官を通じて、9条をまるごと楽しんで下さい。



昨年の7周年記念講演では、飛び入り参加し、大受けだったアーサー・ビナードさん（左）

■講師プロフィール
アーサー・ビナード (Arthur Binard)

1967年、米国ミシガン州生まれ。ニューヨーク州のコルゲート大学で英米文学を学び、卒業と同時に来日、日本語での詩作を始める。詩集『釣り上げては』（思潮社）で中原中也賞、絵本『ここが家だ』（ベン・シャーン）の第五福竜丸（集英社）で日本絵本賞を受賞。エッセイ集に『亜米利加ニモ負ケズ』（日本経済新聞出版社）、『日々の非常口』（新潮文庫）、絵本に『くつきのかお』（福音館書店）、『ことはメガネ』（大月書店）、翻訳絵本に『ダンテライオン』『どんなきかん？』（ともに福音館書店）、『カエルもヒキガエルもつたえる』（長崎出版）、『ホットケーキできあがり』（偕成社）、詩集に『コミの目』（理論社）、翻訳詩集には『日本の名詩、英語でおどる』（みすず書房）など。文化放送「吉田照美ソコダイジナトコ」と青森放送「サタデー夢ラジオ」でパーソナリティもつとめる。

くまもと森都心ビルが憲法9条の息吹に満たされる・・・さあ、ゆったり深呼吸!

12/8土まるごと体感憲法9条Day



Kick off 2011 東弘治氏の作品から

現代へのまなざし・・・

東弘治銅版画（エッチング）展で衝撃の出会いをどうぞ

■浜田知明さん・秀島由己男さんなど、熊本は日本はもちろん世界に通用する銅版画作家を生んでいます。

東弘治さんは、この方たちに続く在熊のもっともすぐれたエッチング作家です。熊本大学教育学部美術科卒業後、教職に就きながら、制作活動を続け、この間日動画廊版画グランプリでグランプリ、山本鼎版画大賞展で準大賞を受賞するなど、現在も精力的に活動を展開しています。その力量は知る人ぞ知る画家です。

熊本で生まれ、この地をバックグラウンドにしたなつかしさを覚えさせる作品シリーズとともに、1995阪神大震災2013東北大地震etc時代の曲折点に反応して、名もない民の視点での作品化は注目すべきでしょう。さらに「むしシリーズ全4作」現在進行形の「四文字熟語シリーズ」など現代社会の力リカチユア（戯画・風刺画）も面白い作品です。気鋭の郷土作家の作品とのしあわせな出会いをどうぞ。当日は、作品の絵ハガキも用意いたします。

●中川五郎さんライブ

「受験生ブルース」をつくった伝説のフォークシンガー中川五郎さん。実は「憲法前文」や「憲法9条」を愛し、曲までつくっているのです。原発の再稼働に反対する首相官邸前の金曜日アクションでは、「We shall overcome」に日本語歌詞「大きな壁が崩れる」をつくって歌い、それが今、人々の間で広まっています。彼のライブに浸ると人間の尊厳に対する信頼が根付き、元気になれるのです。

●トーク・カフェ「どんな町に住んでみたい？」

～若者といっしょに語り合おう～

まず、大学生たちによる東北応援活動をコンパクトに収めたDVDが上映され、彼らに夢や希望（不安や悩み）を語ってもらいます。大人世代と若者世代が真剣に、且つ、心やさしく語りあうちよっとスリリングな企画です。ぜひ、あなたもいっしょに夢や希望（不安や悩み）を語ってください。大学生たち自身が運営・演出します。

●竖琴と昔ばなしのひと時

ギリシャ神話で知られる、竖琴（ライアー）の響きを聞いたことがありますか？ あるいは生きた人の声で昔ばなしが語られるのを聞いたことがありますか？ 通常、どちらもなかなか体験できないことですが、11時から12時の1時間、そんな貴重なひと時をお届けします。しゅんと心が静まる竖琴の響きに、また叡智に満ちた昔ばなしに耳をすますと、心身ともに癒されていくのがわかります。